

NEC

iStorage NS34P

Startup Guide

スタートアップガイド

Microsoft  
Windows  
Storage Server

856-120217-143-A  
2005年 6月 初版

はじめにお読みください

箱を開けてからサーバが使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

**安全に関するご注意**

装置をセットアップする前に「ユーザーズガイド」の「安全にかかわる表示について」「使用上のご注意」—必ずお読みください—をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

**警告**

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 雷が鳴り出したらケーブル類を含め装置に触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- ご自分で本体装置の分解・修理・改造を行わないでください。

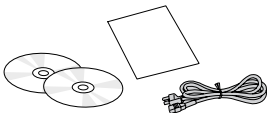
**注意**

- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

## Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。

- 本体
- 電源コード(1本)
- お客様登録申込書
- スタートアップガイド(本書)
- ソフトウェアパッケージ一式\*
- 保証書 (本体梱包箱に貼り付けられています)
- ユーザーズガイド\*2



**重要** 添付のCD-ROMやDVD-ROMは、再セットアップの時に必要となりますので大切に保管しておいてください。

- \*1 ソフトウェアパッケージの内容については、ソフトウェアパッケージ内の構成品表を参照してください。
- \*2 ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER (SE)」CD-ROM内に格納されています。これを参照するには、Adobe Readerが必要となりますので、あらかじめご使用のPCへインストールしておいてください。

## Step 5 初期設定をする

管理ツールWebUIを使用できるようにするために、本装置の初期設定を行います。

**重要** 出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。

本体内部のLANポート1に割り当てる情報として、「コンピュータ名」、「IPアドレス\*」、「IPアドレス用のサブネットマスク\*」を用意してください。

\* IPアドレスとサブネットマスクは、設定およびWebUIに使用するWindowsマシンと同じネットワークになる値にしてください。

初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にあるWindowsマシン(Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003/Windows NT 4.0)と添付のEXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMを使用します。

**参照** 詳細については、初期設定ツールのヘルプを参照してください。初期設定ツールを起動せずにヘルプを参照したい場合は、以下のファイルを開いてください。

「EXPRESSBUILDER(SE)」CD-ROMの  
¥NASAP¥iStorageNSsetup.chm

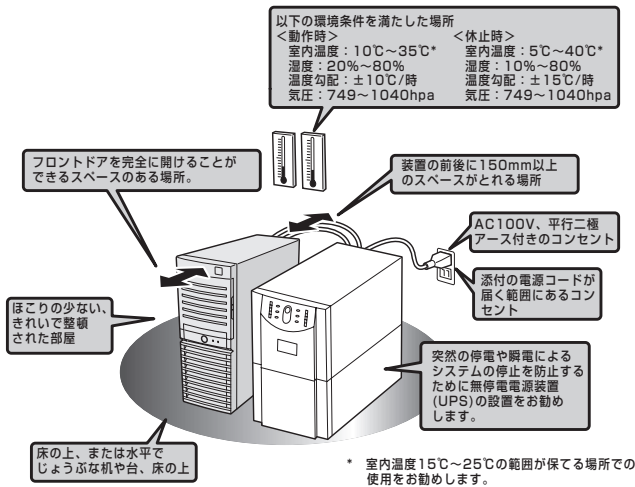
- ① 任意のWindowsマシンのCD-ROMドライブにEXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをセットする。

Autorun機能によりメニューが自動的に表示されます。表示されない場合は、CD-ROMドライブ内の「¥MC¥1ST.EXE」を実行してください。

## Step 2 適切な場所に設置する

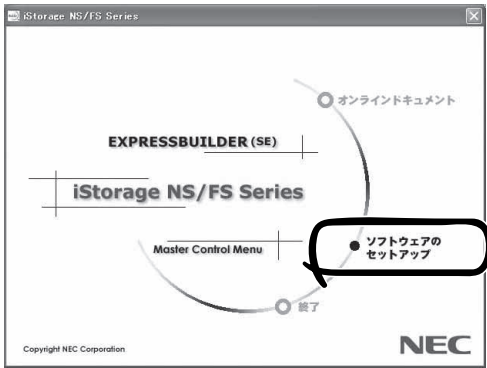
本体の設置場所を決めます。

**参照** 「ユーザーズガイド」の第2章「セットアップ」を参照してください。



- ② [ソフトウェアのセットアップ]から[初期設定ツール]をクリックする。

初期設定ツールが起動し、エンドユーザライセンス契約(EULA)の確認画面が表示されます(初回のみ)。

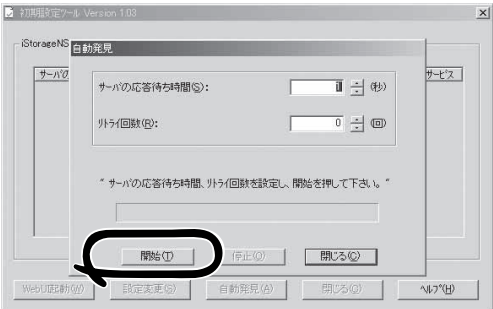


- ③ EULAを確認の上、同意する場合は[はい]をクリックする。

自動発見ウィンドウが表示されます。

- ④ [開始]をクリックする。

iStorage NSの一覧が表示されます。



## Step 3 ケーブルを接続する

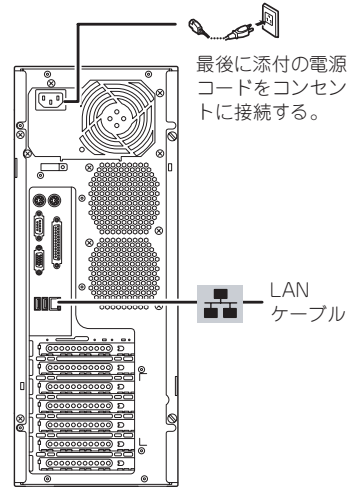
ケーブルを本体背面にあるコネクタに接続します。

**参照** 「ユーザーズガイド」の第2章「セットアップ」を参照してください。

**重要**

- 本装置に接続するケーブルは、LANケーブルと添付の電源コードのみです。その他のケーブルを接続する必要はありません。PCIスロットにオプションのNICを取り付けているときは、まず本体のLANポートコネクタのみに接続して初期設定を行い、設定完了後に残りのコネクタに接続してください。残りのコネクタに接続するときは、PCIスロット番号の小さい順に接続してください。

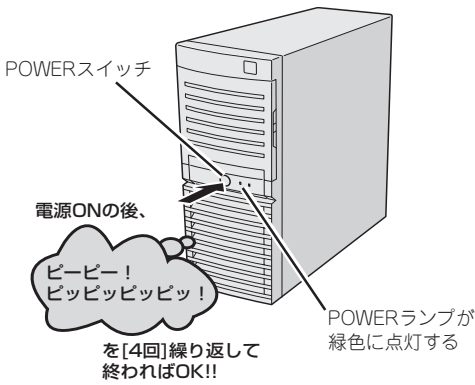
- 本装置への各種オプションの取り付け・取り外しは、本書で示すセットアップが完了した後に行ってください。



## Step 4 電源をONにする

電源をONにします。

- ① 本体のLANポートコネクタとネットワーク環境として使用するHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。
- ② POWERスイッチを押して、システムの電源をONにする。



システムの起動後、ビーブ音のパターン(ビーブ音を2回長く4回短く)を4回繰り返したら、正常に起動したことになります。

- ⑤ WebUI起動の表示が「確認中」から「可」または「不可」になったら、本装置を選択し、[設定変更]をクリックする。

設定変更画面が表示されます。

**重要**

DHCPサーバが存在する場合、WebUI起動が「可」となり、「WebUI」を使って設定を変更することが出来ます。コンピュータ名(WebUI上はサーバー名)などの設定はWebUIで[ネットワーク]→[識別]の順に選択して開いた「サーバーID」で行います。このときに通常使用するブラウザの設定は、「Internet Explorer 6.0以降」にしておいてください。



- ⑥ [コンピュータ名]欄にコンピュータ名を入力する。

**重要**

ネットワーク上に同一のコンピュータ名を持つマシンが存在すると、設定変更後の再起動ができなくなります。コンピュータ名が重複していないことを確認してください。

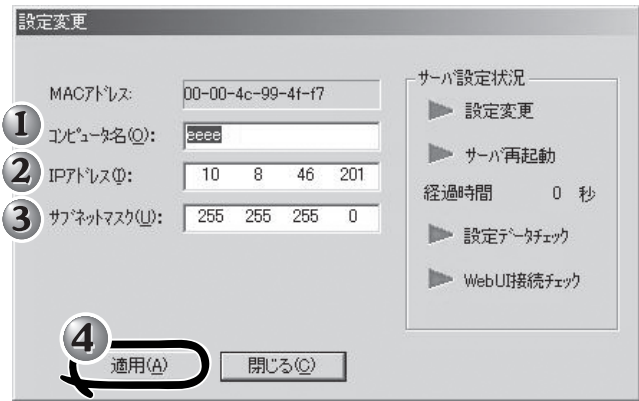
- ⑦ [IPアドレス]欄にIPアドレス、[サブネットマスク]欄にサブネットマスクを入力する。

**重要**

- IPアドレスの設定に間違いがあると、設定変更後の再起動や、管理ツール「WebUI」からの接続ができない場合があります。IPアドレスに誤りがないことを確認してください。
- 設定するIPアドレス/サブネットマスクは、初期設定ツールを動作させているマシンと同一ネットワークになるように設定してください。

- ⑧ [適用]をクリックする。

- ⑨ 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックする。



サーバ設定の変更が始まり、サーバ設定状況の内容が順次更新されます。

- ⑩ 完了メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

以上で、本装置の初期設定が完了し、WebUIでの管理ができる状態になりました。

**参照**

初期設定ツールにおいて、設定変更ができないなどの問題が発生した場合は、初期設定ツールのヘルプの「トラブルシューティング」を参照してください。

引き続きシステムのセットアップをします。

裏面をご覧ください。



## Step 6 管理ツール「WebUI」を使って設定する

本装置と同じサブネット上にあるクライアントマシン(Windowsマシン)で必要事項を設定します。

ブラウザには「Internet Explorer 6.0以降」を使用し、エンコードを「自動選択」または「Unicode (UTF-8)」にしてください。

**重要** 設定方法の詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。

- ① クライアントマシン上でInternet Explorerを起動する。
- ② 「アドレス」に「https://hostname:8098/」と入力する。  
「hostname」の部分は、本装置のコンピュータ名を入力します。  
コンピュータ名での名前解決ができない場合は、「hostname」の代わりにIPアドレスを指定してください。
- ③ 「セキュリティの警告」が表示されたら、[はい]をクリックする。
- ④ ユーザー名に「Administrator」を入力し、次にパスワードを入力して[OK]をクリックする(出荷時パスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。

「iStorage NSシリーズ WebUI」の画面が表示されます。

**重要** もし、画面が表示されなかった場合は、ユーザーズガイドの第8章「故障かな?と思ったときは」の「障害時の対処」-「トラブルシューティング」を参照してください。



## Step 7 セキュリティのセットアップをする

本装置のセキュリティを保つために次のセットアップを必ず行ってください。

パスワードの変更

出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。初回WebUI起動時に必ず管理者パスワードを変更してください。WebUIで【開始】→【管理者パスワードの設定】の順に選択し、パスワードを設定してください。

**重要** 本装置をWORKGROUP環境にしてパスワードを変更してください。

- ⑤ ユーザーズガイドや注意制限事項、および管理者ガイドを参照して必要事項を設定する。

**重要** 以下の設定を行ってください。

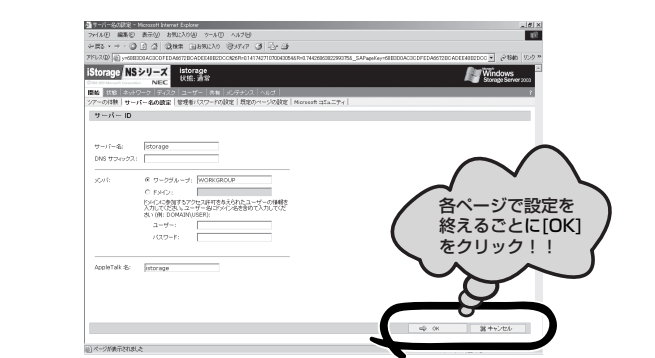
- 日付と時刻の設定
- 通知電子メールの設定
- サーバーアプライアンス名(コンピュータ名)の設定(初期設定ツールでコンピュータ名を設定済みの場合は不要)
- サーバーアプライアンスIDメンバ(WORKGROUP/ドメイン参加)の設定
- AppleTalk名
- シャドウ コピーの設定(本機能を使用する場合のみ)

- ⑥ 設定を変更したら、設定内容を反映させるために各ページごとに[OK]をクリックする。

以下の設定変更には再起動がともないます。注意してください。

- サーバーアプライアンス名(コンピュータ名)
- サーバーアプライアンスIDメンバの設定(WORKGROUP/ドメイン参加の設定)
- AFT (Adapter Fault Tolerance) の設定(本機能を使用する場合のみ)
- ALB (Adaptive Load Balancing) の設定(本機能を使用する場合のみ)

**重要** サーバーアプライアンス名とAppleTalk名は合わせておくとう便利です。



## Step 8 ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバ管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします(その他にもディスクアレイを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください)。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

### ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクドライブなどの状態監視やサーバに異常や障害が発生したときに自動的に本装置の電源をOFFにしたり、本装置監視用コンピュータ(管理PC)やページャへの通報などを行うユーティリティです。

**重要** 設定方法については、ユーザーズガイドを参照してください。

ESMPRO/ServerAgentをインストールした装置の状態は管理PC (ESMPRO/ServerManager)のディスプレイから右図のように確認することができます。

### ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。

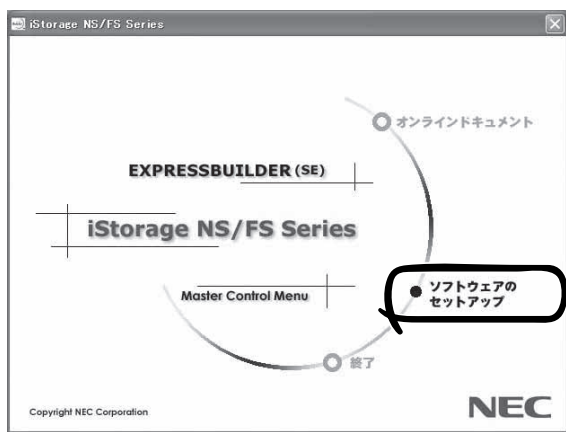
EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示されるメニューから「ソフトウェアのセットアップ」-「ESMPRO」の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。



### iStorage NS連携モジュール

ESMPRO/ServerManagerがインストールされている環境にiStorage NS連携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManagerより、本製品の管理ツール(WebUI)が起動できます。EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示されるメニューから「ソフトウェアのセットアップ」-「iStorage NS連携モジュール」の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

**重要** iStorage NS連携モジュールはシステムに「通常使用するブラウザ」として登録されているブラウザを起動するため、Internet Explorer 6.0以降のブラウザを事前に設定しておく必要があります。



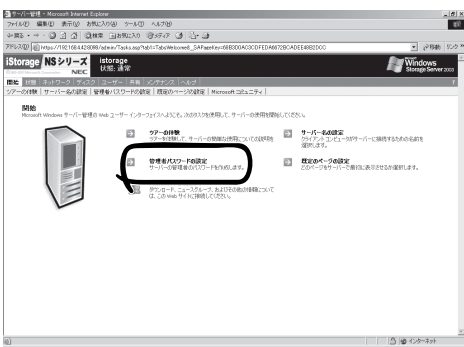
## Step 7 セキュリティのセットアップをする

本装置のセキュリティを保つために次のセットアップを必ず行ってください。

パスワードの変更

出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。初回WebUI起動時に必ず管理者パスワードを変更してください。WebUIで【開始】→【管理者パスワードの設定】の順に選択し、パスワードを設定してください。

**重要** 本装置をWORKGROUP環境にしてパスワードを変更してください。



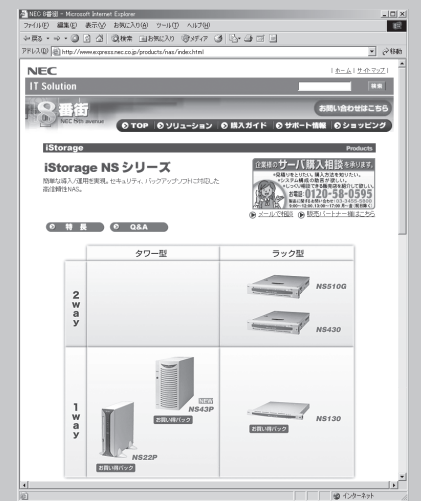
## Step 9 iStorage NSシリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しており、技術サポートを有償にてサポートいたします。本サービスをご契約いただくと、電話や電子メールなどでのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWWWサーバへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのバージョンアップ/リビジョンアップ情報などもご提供いたします。「PP・サポートサービス」の詳しい内容については、以下をご覧ください。

<http://www.sw.nec.co.jp/service/support/pp/index.html>

NEC iStorageシリーズのホームページ

<http://www.express.nec.co.jp/products/nas/index.html>



＜お読みください＞

- 本装置のシャットダウン操作について  
本体のPOWERスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF)しないでください。シャットダウンする場合は、WebUIのシャットダウンメニューを使ってください。UPSに接続している場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジューリングシャットダウンを利用することもできます。
- 本装置のドキュメントについて  
管理者ガイドおよびユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER(SE)」CD-ROMに格納されていますが、改版されることがあります。最新版は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。  
管理者ガイド  
<http://www.express.nec.co.jp/care/user/adminguide.html>  
ユーザーズガイド  
<http://www.express.nec.co.jp/care/user/istorage.html>
- ディスクアレイ構成を変更した場合  
ディスクアレイ構成を変更した場合は、ユーザーズガイドを参照して、ディスクアレイコンフィギュレーション情報のバックアップを行ってください。
- 電源制御機能の使用について  
本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれていますので、スタンバイ/休止状態で運用しないでください。
- システムのパフォーマンスを活用するために  
本装置のOSを再インストールする場合は、本体内部のディスクアレイコントローラのライトキャッシュの設定は「Write Thru」を選択してください。増設バッテリーを搭載している場合は、「Auto Switch」を選択できますが、OSの再インストール時は「Write Thru」にしてください。なお、増設バッテリーの有無に関わらず、「Write Back」は選択しないでください。

商標について

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。  
© NEC Corporation 2005  
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。  
このマニュアルは再生紙を使用しています。